

つながる・ひろがる交流会～極楽学区～

日時：平成 28 年 11 月 25 日(金)

14:00～15:10

場所：名東区役所 講堂

テーマ 「極楽サロン～お茶飲み会～」について

1 概要

家に引きこもりがちになりやすい、高齢の方々が気楽に参加でき、同世代の仲間の安否を気遣える、地域の「憩いの場」のような場所をつくるために平成 24 年 10 月より開催している。

極楽学区地域福祉推進協議会と極楽学区民生・児童委員協議会が主催で、65 歳以上の方を対象に毎月 1 回行っており、予約も参加費も不要としている。内容は前半 1 時間が講師による講演や音楽会で、後半 1 時間がコーヒーやお茶を飲みながらの交流会となっている。

極楽サロンの様子



2 平成 28 年度の取り組み内容

4 月 (第 40 回)	猪高緑地の自然と生物について
5 月 (第 41 回)	アクティブシニアのための栄養ミニ講話
6 月 (第 42 回)	ハーモニカ演奏
7 月 (第 43 回)	津軽三味線の演奏と唄
8 月 (第 44 回)	「風船アート作り」と「子ども達カレーを食す」
9 月 (第 45 回)	国内初のジェット旅客機 (MRJ) が大空に飛び立つまで
10 月 (第 46 回)	レコード盤による音楽鑑賞

3 成果・展望

講演のテーマによって参加される方々に変化があり、「極楽サロン～お茶飲み会～」の地域の中での関心が高まっている。また、地域の「憩いの場」としても周知されてきたところであり、さらに多くの方の参加を目指し、地域の「憩いの場」として発展させたい。

4 意見交換の主なやりとり

(質問 1)

我々の学区ではふれあい給食会を行っていますが、なかなか男性の参加者が集まりません。男性の参加者の割合はどのくらいですか。

→ (回答) 〈極楽学区民生・児童委員協議会会長〉

極楽学区に住まわれている方で 65 歳以上の方は誰でも参加できるような形式で実施しておりますが、始めのうちは私が女性に声をかけることが多かったので、女性の参加者が多かったです。しかし、徐々に男性の参加者が増え始めて、今では全体の参加者のうち三分の一は男性となっております。内容によっては、男性が二分の一くらいになることもありました。

(質問 2)

講師の選定が多彩だと感じました。どのように講師を選定されているのかお伺いしたい。

→ (回答) 〈極楽学区民生・児童委員協議会会長〉

始めの頃は私の知り合いを通じて講師を選定することが多かったのですが、最近では社会福祉協議会に相談して講師を選定しています。テーマが音楽関係の時に参加者が多いと感じます。

(意見 1) 〈名東区社会福祉協議会事務局長〉

極楽サロンの特徴は、講師の選定が多彩で幅広いことだと思います。地域の経験豊かな人材を講師として活用されていて、男性の参加率が高い点もすばらしいと感じました。

(意見 2) 〈福祉課長〉

こういったサロンで男性の参加率を向上させることは難しいことですが、組回覧を使用し、広くわかりやすく広報されていて、参加しやすい環境づくりをされていると感じました。

(意見 3) 〈コミュニティサポーター〉

活動の中に地域の子ども達と関わるものがあって、地域で子ども達を育てていく環境づくりにも貢献しているのではないかと感じました。

5 まとめ

〈極楽学区連絡協議会会長〉

本日は極楽サロン～お茶飲み会～について発表させていただきまして、ありがとうございました。これまでに来ていただいた講師の方々をご紹介できるかもしれませんので、ご希望があればご相談いただければと思います。

〈名東区長〉

地域には様々な能力や経験をお持ちの方が実に多くいらして、まだまだそういった方がいるということをわかっていないとつくづく感じる場合がございます。つながるまち・ひろがるまちと言っておりますが、まだまだつながりという点で努力が足りないのかもしれませんが、地域の方のご協力は欠かせないものがございますので、これからもよろしく願いいたします。